



白河二中だより

N.O. 34
2024.12.20
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聰

進路の実現に向けて

明日は「冬至」です。一年で最も昼が短く夜が長い日ですので、翌日からは、日に日に昼の時間が長くなり、「春」に近づいていくことになりますね。

3年生は現在進路の実現に向けて、面接指導や作文指導などに真剣に取り組んでいるところです。私立高校等の受験も既に始まっており、全員が「春」を目指し、最大限の努力をしていますので、学校全体で3年生を応援していきたいと思います。

ちなみに「冬至」は、カボチャや「ん」のつく食べ物を食べたり、ゆず湯に入ったりすることで新しい運気を呼び込み、良い年を迎える準備をするという風習があります。

意見を参考に

12日（木）、今年度2回目の学校運営協議会を開催し、委員の方々に授業参観をしていただくと共に、学校運営に関するご意見をいただきました。

- 「先生と生徒の一体感が感じられた」
- 「授業の雰囲気がとても良く、先生も生徒も楽しそうに取り組んでいた」
- 「タブレットの使用もとてもスムーズで、先生の指示も行き届いていた。学習効果が大きいと感じた」
- 「生徒の絵画や書を見て、無限の可能性を感じた」
- 「文武両道的な学校生活を感じられて良かった」

これまでの授業や様々な指導の積み重ねを



認めてくださる感想をたくさんいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

リーダーとして

11月末より、各クラスで選出された選舉管理委員が適切に運営してきた生徒会役員選挙ですが、13日（金）には立会演説会と投票が行われました。

今年度は、会長、副会長、書記、会計の役職に8名が立候補し、応援演説者と共に、朝の登校時、昼休みの放送、さらに、放課後等に選挙運動を繰り広げてきました。この日は、思いを伝える最後の機会となりましたが、立候補者も応援演説者も、それぞれが選び抜いた言葉で、熱意のある演説を行い、投票する側の生徒も真剣に聞き入る様子が見られました。

新役員の本格的な始動は1月からになりますが、先輩達が築き上げた伝統を受け継ぎ、

さらに、より良い学校とするために、リーダーシップを發揮してほしいと思います。



感謝！

明治安田生命さんでは「未来世代応援アクションwith カズ」というプロジェクトを立ち上げ、三浦知良選手の背番号にちなんだ1.1万個のサッカーボールを全国の学校に届けています。今回、本校もその1校に選んでいただき、白河営業所の松田所長さんよりボールを受け取りました。

また、福島県のプロバスケットボールチームである福島ファイヤーボンズの西田社長さんと協賛企業のホープ・インダストリーさんの安藤社長が来校され、男女バスケットボール部にボールを寄贈いただきました。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。